

西東三鬼のふるさと俳句投句函

平成二十九年八月 入選句

特選

石段の一つひとつを踏んで夏
炎帝や認識されぬパスワード

津山市 中島 正和
津山市 保田 基

一般の部

やわらかき緑の中に神おわす
毛槍めく奴通りの花水木
境内は紫陽花の道風の道
十薬の這ふ空井戸や三鬼恋ふ
石垣の反りを横切りて夏つばめ
夏草や生家といふは句碑ひとつ
城山の空の青さや雲の峰
和時計の記憶の艶よ夏館
はすの花水面に写る光かな
油照前頭葉の謀叛かな
日焼けして骨の髄まで反戦派
公園に住みつく猫も夏祭り
廢堀薬研堀あり秋の風
「じゃけんなあ」グラスの軽き孟蘭盆会

岡山市 森 純子
鏡野町 瀬島 百合子
広島県 田島 久美子
笠岡市 古川 美智子
奈良県 前田 宏子
広島県 吉原 文音
愛知県 吉田 顕司
広島県 田中 治子
香川県 井口 有紀江
津山市 妹尾 武志
東京都 松岡 秀山
津山市 井上 典子
鏡野町 高原 喜久子
美咲町 須一 正道

ジュニアの部

はすのいけはっぱがいっぱいみどりいろ

津山城石垣ボコボコ歴史ある
津山城見たらつかれがふきとんだ
ふらふらとどこを旅する糸蜻蛉

兵庫県 岡田 咲葉 (五才)
京都府 空木 陸 (九才)
埼玉県 森崎 彩乃 (十三才)
香川県 井口 黑夜 (十七才)

(今回投句数 二五一句)

